

- ・電気抵抗測定法(トレーサー法)による地下水流動層検層
- ・1本のケーブルに100個の電極を25cm間隔で配置
- ・タイマー機能により5分間隔毎に完全自動化測定
- ・1回の測定時間(100電極付)は約100秒で完了

GWL-100 地下水流動層検層装置



GWL-100 100 電極付プローブ



GWL-100 データロガー

【概要】

GWL-100は、多電極プローブとデータロガーから成る電気抵抗測定法による地下水流動層検層装置(JGS1317-2012準拠)です。電解質溶液(塩分濃度1%程度)で置換された孔内水の電気抵抗の経時変化を一定の時間間隔毎に測定することで地下水流動層を把握します。測定はデータロガーに内蔵の時計機能により5分毎に全自動で行い、測定結果はSDカードにCSVデータとして保存されます。また、1電極あたりの測定時間は1秒ですので100電極付の場合、1回の測定に要する時間は、約100秒です。

【特長】

- ・1本のケーブルに100個の電極を25cm間隔で配置していますので全長24.75mの広範囲を一度に調査できます。
- ・測定はデータロガーに内蔵されたタイマー機能により全自動で行います。測定終了後は次回測定までスリープ状態となり、省電力化を図っています。
- ・測定結果はSDカードにCSVデータとして保存、EXCELによる処理も容易です。

【用途・適用分野】

- ・地下水流動層の把握
- ・水理地質の調査研究

【仕様・性能】

1) 多電極プローブ部

- ・最大電極数: GWL-100 (100電極対)
GWL-75 (75電極対)
GWL-50 (50電極対)
- ・電極間隔: 25cm
- ・電極部外径: ϕ 28mm
- ・測定周波数: 1,000Hz
- ・測定電圧: 1Vrms (定電圧方式)
- ・測定範囲: 0~2,000 Ω
- ・ケーブル: 6芯、外径 ϕ 7mm
- ・ケーブル特性: ケプラー入りウレタン被覆
- ・ケーブル長: 全長110m (変更可能)
- ・プローブ部重量: 20Kg (100電極付)

2) GWL-100 データロガー部

- ・測定間隔: 0、5、10、15分 (5分毎に任意回数) * 1
- ・測定結果: SDカードに保存 (CSV形式)
- ・測定時間: 約100秒 (100電極付の場合)
- ・インターフェース: Bluetooth
- ・動作電源: 内蔵12Vリチウムポリマー電池)
外部12Vバッテリー
- ・消費電流: 320mA (測定時)、50mA (スタンバイ時)
0.1mA (スリープ時)
- ・動作温度: 0~50°C
- ・ケース外形: 259×201×114mm (ABS樹脂)
- * 1: 測定終了後、次回測定までスリープ状態
次回測定時、自動的に起動し、測定を再開



3) GWL-100 データロガー標準付属品

- ・電源コード…………… 1本
- ・充電器(90~260VAC) …… 1個
- ・SDカード(16BG) …… 1個
- ・取扱説明書…………… 1部

仕様は変更することがありますのでご了承ください。



株式会社 ジオファイブ

<http://www.geo5.co.jp>

〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-453-2

TEL:048-662-9175

FAX:048-662-9176

E-mail:sales@geo5.co.jp